

# 付録

●消防本部・署の沿革(川内市消防本部)

年	月	日	概	要
昭和 26 年	4 月	1 日	消防本部を創設(初代消防長 近藤磨瑠雄(団長兼務)以下9人)	
昭和 27 年	11 月	13 日	自動車ポンプを購入(消防長以下18人)	
昭和 32 年	10 月	20 日	気象観測開始	
昭和 33 年	1 月		自動車ポンプを購入(人口62,492人、職員27人、自動車ポンプ2台)	
昭和 34 年	11 月	10 日	消防署を創設(近藤消防長、初代署長を兼務)	
昭和 35 年	6 月	30 日	近藤消防長(署長)退任、第2代消防長に仮屋重夫市助役が消防長事務取扱として就任	
昭和 36 年	3 月	1 日	第2代消防署長に須田清春就任	
昭和 37 年	4 月	1 日	大小路分遣隊を新設(職員9人、自動車ポンプ1台)	
	5 月	17 日	日本損害保険協会より消防ポンプ自動車の寄贈を受ける	
昭和 39 年	3 月	25 日	消防無線開設(基地1、移動3台)	
昭和 41 年	12 月	15 日	須田清春署長が第3代消防長に、平瀬松次次席が第3代署長に就任	
昭和 43 年	4 月	15 日	平瀬署長退任(須田消防長、第4代署長を兼務)	
	5 月	1 日	救急業務開始(職員41人、自動車ポンプ4台、救急車1台)	
昭和 45 年	12 月	28 日	須田消防長(署長)退任、児玉篤信市助役が第4代消防長事務取扱となる	
昭和 46 年	1 月	9 日	平山武徳次席が第5代署長に就任	
	7 月	7 日	平山武徳次長兼署長に就任	
	9 月	30 日	児玉消防長事務取扱が退任、横山正元市長が第5代消防長事務取扱に就任	
昭和 47 年	1 月	17 日	梯子車(24m)を購入(職員53人、自動車ポンプ3台、救急車1台)	
昭和 48 年	9 月	1 日	川内信用金庫より救急車の寄贈を受ける	
	9 月	18 日	鹿児島県共済農業協同組合連合会より救急車の寄贈を受ける	
昭和 49 年	9 月	28 日	横山消防長事務取扱が退任、福壽十喜市長が第6代消防長事務取扱に就任	
昭和 50 年	1 月	7 日	平山次長 署長の兼務を解き、浜田博之第6代署長に就任	
	3 月	20 日	日本損害保険協会より消防ポンプ自動車の寄贈を受ける	
	6 月	23 日	平山次長退任	
	11 月	3 日	日乃出屋より器具車の寄贈を受ける(職員54人、本部車1台、自動車ポンプ3台、梯子車1台、救急車2台、器具車1台)	
	12 月	1 日	十島良郎次長に就任	
昭和 53 年	4 月	1 日	川内市中郷町2023番地に新庁舎落成移転、同時に大小路分遣隊は市役所庁舎に移転、向田分遣隊と改称	
	5 月	15 日	川内信用金庫より消防指揮車の寄贈を受ける	
昭和 54 年	7 月	20 日	京都セラミックより救急車の寄贈を受ける	
昭和 55 年	3 月	3 日	浜田署長退任、堀之内成夫第7代署長に就任	
	11 月	20 日	十島次長退任、堀之内成夫次長兼署長に就任	
	11 月	26 日	タイヨーより救急車の寄贈を受ける	
昭和 56 年	1 月	20 日	堀之内次長兼務を解く	
	1 月	26 日	福壽消防長事務取扱退任、山本孝一第7代消防長に就任	

●消防本部・署の沿革(川内地区消防組合)

年	月	日	概 要
昭和 56 年	4 月	1 日	1市3町4村を構成員とする川内地区消防組合発足 条例定数 105人 実員 76人 管理者 福壽十喜 助役 仁礼国市 収入役 松永富男 初代消防長 山本孝一 向田分遣隊を中央消防署南部分署と改称
	7 月	15 日	川内地区消防組合紋章・組合旗の制定
	12 月	1 日	土地区画整理事業により、消防本部・署の所在地町名地番変更 (川内市原田町185番地)
昭和 57 年	2 月	10 日	日本自動車工業会より救急車の寄贈を受ける
	2 月	24 日	中央消防署上甌・下甌分駐所庁舎及び消防吏員待機宿舎完成
	3 月	31 日	救急指令装置をB型電子式に整備・無線局寺山公園中継局設置 中央消防署上甌・下甌分駐所開所 各所に職員6人・救急車1台配備
昭和 58 年	1 月	28 日	中央消防署車庫新築(鉄骨スレート葺 32㎡)
	3 月	11 日	鹿児島県共済農業協同組合連合会より救急車の寄贈を受ける
	3 月	18 日	東部消防署庁舎完成(入来町浦之名727番地2)
	3 月	19 日	日本損害保険協会より救急車の寄贈を受ける
	4 月	1 日	東部消防署開署(職員11人、水槽付消防ポンプ自動車1台、救急車1台、指揮車1台配備)
	10 月	1 日	東部消防署に職員6人を増置、17人とする。 ユーアガス鹿児島・南日本ガスより指令車の寄贈を受ける
	11 月	1 日	川内信用金庫より救急車の寄贈を受ける
昭和 59 年	1 月	26 日	管理者 福壽十喜 急逝
	3 月	12 日	仁礼国市第2代管理者に就任
	3 月	26 日	西部消防署庁舎完成(川内市水引町3397番地2)
	4 月	1 日	西部消防署開署(職員13人、大型高所放水車1台、水槽付消防ポンプ自動車1台、救急車1台、指揮車1台配備)
	7 月	1 日	萩迫良和第2代助役に就任
	8 月	28 日	日本消防協会より電源照明用資機材搬送車の寄贈を受ける
	10 月	1 日	西部消防署に職員4人を増置。17人とする
	11 月	1 日	中央消防署通信指令室にファクシミリ設置
昭和 60 年	2 月	27 日	中央消防署倉庫新築(鉄骨スレート葺 2階建 延面積64㎡)
	2 月	28 日	寺山無線中継局に遠方監視装置増設
	4 月	1 日	条例定数改正 119人 実員 108人
昭和 60年	12 月	3 日	三井液化ガスより指揮車の寄贈を受ける
	12 月	25 日	救急業務用地図等検索装置(光ディスク方式)購入
昭和 61 年	4 月	1 日	消防本部警防課に通信指令係を新設(職員3人)
	4 月	18 日	消防組合発足5周年記念式典を挙る

年	月	日	概 要
昭和 61 年	8 月	11 日	山本消防長退任(萩迫助役が消防長事務取扱兼務)
	10 月	1 日	野田泰宏第2代消防長に就任
昭和 62 年	3 月	28 日	消防本部、中央消防署庁舎増築・模様替工事(2階部分261㎡増築) 中央消防署車庫新築(鉄骨スレート葺73.95㎡)
	12 月	7 日	福崎勇夫氏(川内市)より救急車の寄贈を受ける
	12 月	15 日	救助工作車及び救助資機材一式を購入、中央消防署に配備
昭和 63 年	3 月	9 日	消防庁長官表彰(表彰旗)
	6 月	30 日	松永収入役退任
	9 月	6 日	森 卓朗第2代収入役に就任
	12 月		市町村負担金分賦割合の変更につき関係市町村と協議 全市町村議会議決
平成 元 年	1 月	30 日	だいわより救急車の寄贈を受ける(川内市へ)
	2 月	2 日	東部消防署車庫を新築(鉄骨スレート葺17.92㎡)
	3 月	4 日	市町村負担金分賦割合の変更許可(県知事)
	12 月	5 日	日本防火協会より防火広報車の寄贈を受ける
平成 2 年	3 月	31 日	野田消防長退任
	4 月	1 日	内田耕也第3代消防長に就任
	6 月	16 日	堀ストアより救急車の寄贈を受ける(川内市へ)
	10 月	24 日	南日本開発より梯子車(35m)の寄贈を受ける(川内市へ)
平成 3 年	4 月	7 日	川内ライオンズクラブより救急車の寄贈を受ける
	8 月	4 日	消防組合発足10周年記念式典を挙(第9回消防フェスティバル同時開催)
平成 4 年	3 月	2 日	原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から消防無線移動局の貸与を受ける(5w15基)
	3 月	26 日	中央消防署南部分署新庁舎完成(川内市若松町8番20号)
	8 月		中央・東部・西部各消防署で消防フェスタ開催
	9 月	1 日	日本消防協会より救急車の寄贈を受ける
	10 月	1 日	中央消防署南部分署に職員4人を増置、13人とする
平成 5 年	11 月	1 日	大型高所放水車を西部消防署から中央消防署南部分署に配置転換
	3 月	20 日	中央消防署南部分署に訓練塔建設
	3 月	16 日	原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から消防無線移動局(5w10基)及び救助資機材等(空気呼吸器5基他)の貸与を受ける
	3 月	27 日	サンテックより小型船舶(1.5t)の寄贈を受ける
平成 6 年	9 月	20 日	市町村負担金分賦割合に関する組合規約変更届出(平成6年度負担金から適用)
	2 月	15 日	原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から消防無線移動局(10w2基、5w6基)及び救助資機材等(空気呼吸器5基他)の貸与を受ける
	4 月	1 日	通信指令室に河川情報等受信用端末機を設置

年	月	日	概 要	
平成 6 年	5 月	18 日	救急救命士誕生、11月に2人となる	
平成 7 年	1 月	24 日	阪神淡路大震災被災地へ職員5人、車両2台を派遣 ～28日	
		31 日	内田消防長退任	
	4 月	1 日	山口 傳第4代消防長に就任(昇任) 条例定数改正 128人 実員123人	
			川内市のコンピュータ(サーバ)と電話回線により接続された端末機を消防本部総務課に設置、財務会計のオンライン処理開始	
	5 月	19 日	救急救命士3人となる	
	7 月	27 日	日本損害保険協会より水槽付消防ポンプ自動車の寄贈を受ける	
	8 月	21 日	第1回応急手当普及員講習会を実施(29人認定)～23日	
	8 月	25 日	森収入役退任	
	8 月	29 日	日本消防協会より救急車の寄贈を受ける	
	8 月	31 日	萩迫助役退任	
	10 月	1 日	救急救命士の院内研修を川内市医師会立市民病院で実施(10月2人、11月2人)	
	11 月	22 日	救急救命士4人となる	
	平成 8 年	1 月	18 日	高規格救急車及び高度救命処置用資機材を購入、中央消防署に配備
3 月			10 日	仁礼管理者退任
3 月		11 日	森 卓朗第3代管理者に就任	
3 月		15 日	原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から消防無線移動局(10w2基、5w3基)の貸与を受ける	
4 月		1 日	富山新八第3代助役に就任	
			若松隆久第3代収入役に就任 高規格救急車等による高度救急業務を開始 消防本部警防課の通信指令係を第1通信指令係及び第2通信指令係とする	
4 月		9 日	コアガスグループより指令車の寄贈を受ける	
8 月		20 日	第2回応急手当普及員講習会を実施(29人認定)～22日	
10 月		22 日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加(熊本県菊池郡)	
12 月		2 日	救急救命士5人となる	
平成 9 年		3 月	26 日	鹿児島県北西部地震 M6.2 震度5強
			31 日	山口消防長退任
		4 月	1 日	岩切秀雄第5代消防長に就任
	4 月	4 日	カコイエレクトロより連絡車(ベスト電器号)の寄贈を受ける	
	5 月	12 日	救急救命士6人となる	
	5 月	13 日	鹿児島県北西部地震 M6.2 震度6弱	
	7 月	10 日	鹿児島県消防相互応援協定に基づき出水市針原地区の土石流災害現場へ職員15人、車両3台を派遣 ～11日	

年	月	日	概 要	
平成 9 年	8 月	20 日	日本宝くじ協会より消火・通報訓練指導車(けすづくん)の寄贈を受ける	
	10 月	7 日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加(福岡市)～8日	
	11 月		救急救命士7人となる	
平成 10	3 月	7 日	自治体消防制度50周年	
	3 月	10 日	代表電話番号の変更 0996-22-0119	
	4 月	1 日	緊急通信指令施設(Ⅱ型)稼動 携帯電話等からの119番通報受信開始 女性消防吏員1人採用	
	4 月	22 日	中央消防署梯子車(35m)分解整備(オーバーホール)～9月30日	
	5 月	1 日	川内地区消防組合潜水隊編成(7人)	
	5 月	12 日	救急救命士8人となる	
	11 月	19 日	川内ライオネスクラブより予防指導車(川内ライオネスクラブ号)の寄贈を受ける	
	11 月	25 日	救急救命士9人となる	
	平成 11 年	2 月	24 日	東部消防署 高規格救急車等による高度救急業務を開始
		3 月	5 日	市町村負担金の支弁方法の改正に伴う県知事への組合規約変更届(平成11年度から適用)
4 月		1 日	消防本部に予防課を新設し3課7係となる 職員実数128となる	
4 月		9 日	消防行政相談日並びに普通救命講習会開催(以降毎月9日に定期的に実施)	
5 月		11 日	救急救命士10人となる	
5 月		20 日	第83回全国消防長会法制委員会を樋脇町で開催 ～21日	
10 月		19 日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加(長崎市)～20日	
11 月		10 日	救急救命士11人となる	
平成 12 年		2 月	1 日	消防本部及び消防署の住居表示変更 原田町22番10号
		3 月	17 日	上・下甌分駐所消防職員待機宿舎を上・下甌に1棟ずつ新築し、合わせて6世帯確保となる
	3 月	31 日	富山助役退任 岩切消防長退任	
	4 月	1 日	岩切秀雄第4代助役に就任 春田廣士第6代消防長に就任	
	4 月	18 日	原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から(エアータント一式、発電機等8基、防護服等50着)の貸与を受ける	
	4 月	18 日	南部分署大型高所放水車分解整備(オーバーホール)～9月30日	
	5 月	9 日	救急救命士12人となる	
	10 月	23 日	緊急消防援助隊全国合同訓練参加(東京都江東区)～24日	

年	月	日	概 要
平成 12 年	10 月	29 日	川内ライオンズクラブ(35周年記念事業)から指揮広報車(川内ライオンズ号)の寄贈を受ける
	11 月	1 日	救急救命士13人となる
平成 13 年	3 月	23 日	原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から消防無線移動局(5w5基)の貸与を受ける
	10 月	2 日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加(佐賀市)～3日 消防組合20周年記念式典を挙(百次町、屋内研修訓練体育施設にて) 外菌運輸機工より消防指揮車の寄贈を受ける
平成 14 年	3 月	31 日	春田消防長転任
	4 月	1 日	伊豫田輝雄第7代消防長に就任
	5 月	13 日	救急救命士14人となる
	5 月	29 日	宝山実業より救急車(赤玉号)の寄贈を受ける
	6 月	28 日	おおとり荘より小型貨物自動車の寄贈を受ける
平成 16 年	10 月	8 日	川内地区消防組合(昭和56年4月1日発足)解散式を挙(中央消防署車庫にて)